



福祉教育委員会(3月4・5日)

所 管	一 般 会 計
	国民健康保険特別会計
	介護保険特別会計
	後期高齢者医療特別会計

子ども医療費支給事業

質疑 医療費の無料化が中学3年生まで拡大されるが、様々な子育て支援策の選択肢がある中で、子ども医療費助成の拡大を選択した理由は何か。

答弁 この助成拡大には、4,000万円台後半程度の新たな財政負担が生じる見込みであるが、近年の少子化の影響により、医療費全体が減少傾向にあることから、前年度予算に比べ、約2,000万円程度の増額で対応できることとなった。また、助成拡大を選択した理由としては、議員からも無料化の要望があったことや、何よりも市民の皆様方からのニーズが大変多く、昨年度、子育て世帯を対象に実施したアンケート調査の結果からみても、子ども医療費の負担軽減を求める声が多かった。このように、他の子育て支援策よりも医療費助成に対するニーズが高かったことから、新年度から助成を拡大することを決断した。

みしまタニタ健康くらぶ推進事業

質疑 健康づくりの拠点となる「タニタSカフェ」を3カ所設置するとともにタニタ監修メニューを提供する飲食店を5店舗程度、中心市街地に設置する予定とのことだが、これらは、具体的にどのエリアに設置するのか。

答弁 健康づくり拠点や監修メニュー飲食店については、中心市街地の中でも、三島駅、広小路駅、三嶋大社のエリアに点在させたいと考えている。タニタ食堂で有名な健康総合企業の(株)タニタが持つ、健康づくりのノウハウとネームバリューを最大限活用することにより、食と運動による市民の健康づくりをうながし、さらに市内を多くの人が回遊することで、産業振興にもつなげていきたいと考えている。

電子黒板・デジタル教科書整備事業

質疑 平成27年度の小学校教科書改訂に合わせ、小学校の特別支援学級を含む全クラスに電子黒板やデジタル教科書を整備するとのことだが、このデジタル教科書とはどのようなものなのか。

答弁 新年度から導入するデジタル教科書は、子ども達が個々の情報端末で学習するというものではなく、教員が電子黒板により、子ども達に大きく掲示して指導するための掲示型ソフトウェアであり、単に紙媒体の教科書の内容がそのまま表示されるだけではなく、音声の再生、動画、写真や図の拡大などの機能を有するものである。この指導用デジタル教科書や電子黒板を活用し、子ども達の視覚や聴覚に直接働きかける授業を行うことで、学力向上に効果があるものと考えている。



学校支援地域本部事業

質疑 本年度実施の6校に、新年度は11校を加え、17校での実施を予定しているとのことだが、実施する学校の数が増えていくのであれば、中学校区の実行委員会を中心とし、その下に小学校区の実行委員会を置くような形も考えられると思うが、組織のあり方についてどのように考えているのか。

答弁 学校支援地域本部における中学校区と小学校区の連携については、大変重要なものと認識している。新年度、中学校区のすべての小学校区で、実行委員会が立ち上がる場所もあるが、その地区では、それぞれの実行委員が集まる機会を設け、情報提供や連絡調整を行なうことも考えている。また、将来的には、それぞれで立ちあがった小学校区の実行委員会を中学校区の単位にまとめていくなどの組織編制については、事業を進めていく中で検討していきたい。



経済建設委員会（3月2・3日）

所管	一般会計
	墓園事業特別会計
	下水道事業特別会計
	駐車場事業特別会計
	水道事業会計

農業振興地域整備計画の変更

質疑 平成27年度は5年に一度の農振計画の定期変更の年である。農家にとって非常に重要な計画であるが市はどのような考えで取り組んでいくのか。

答弁 5年前の定期変更の際には、20ヘクタール以上の一団の農地を青地として捉えていたが、今回の定期変更では10ヘクタール以上に変更されている。そのため、青地が増えると思われるが、今後の農地の利用に対する農家の考え方を聞く中で農家の意向を優先して取り組んでいく。

中郷温水池公園整備事業

質疑 三島市は住民一人あたりの公園面積が少ないが、その中で、楽寿園から松毛川までの水辺景観ルートの中継点とするために、中郷温水池を都市公園としてどのように整備していくのか。

答弁 全体で1.9ヘクタールを整備していく。構想の中では身体障がい者用の駐車場を3台くらい用意するほか、築山を配置しながら植栽をして、源兵衛川を歩いてきた人が景色を見ながら休憩できる公園になるように考えている。ベンチなどの最低限な設備にとどめ、建物などのハード整備は計画していない。



楽寿園の動物飼育事業

質疑 動物の餌の調理室を老朽化のために建て替えるとのことだがなぜ場所も移転するのか。

答弁 現在の調理室は築40年経過しており、場所も園内の中央付近にある。調理室は裏方の建物であり、また「ガーデンシティみしま」にふさわしい園内の展示及び回遊性を考えて場所を移転する。また、今後は檻の中の動物を縮小して、子どもたちが気軽に楽しくふれあえる小動物を拡充するという、楽寿園運営委員会からの提言に沿って動物を飼育していくが、調理室は必要最小限で現在と同じくらいの広さの平屋建てを計画している。

交通量調査解析業務

質疑 三島駅北口の簡易裁判所前に計画されている歩道橋の必要性の有無を検証するための調査・解析だが、以前は歩道橋が必要ということで予算を立てて設計をしていたと思う。なぜ今になって必要性の有無を検証することとしたのか。

答弁 以前は多くの歩行者が横断歩道を渡っていると車がなかなか通れないという状況であった。そのため、歩行者の安全を確保するためには歩道橋が必要であると判断された。しかし、現在は歩車分離になり、車と歩行者の接触の危険性がなくなったこと、また、工事費や人件費が高騰したため、必要最小限の対策にしようという考えである。

現在は変則交差点になっているが、平成27年度以降、用地買収等を行い、通常の十字路の交差点にしていく予定である。そのため、車と歩行者の交通関係が改善されると期待される。

浄化槽の設置に対する補助金

質疑 下水道事業計画区域の中で下水道を整備しない場所を造ることにつながらと思うが、狩野川流域別下水道整備総合計画との整合性がとれるのか。

答弁 地理的条件や地下埋設物などにより下水道整備が技術的に極めて困難な場所等に対しては、効率的に生活排水処理を進めるため、事業計画区域内であっても、浄化槽の設置に補助をしている。